

# 平成30年北海道胆振東部地震での宮古・室蘭フェリーの活用

## 災害派遣部隊の輸送

地震発生当日から、災害派遣部隊が今年6月に就航した宮古・室蘭フェリーで順次出発しました。

<9月6日(木) 宮古港発> 発災日当日 午前8時半に出港

◆ 緊急消防援助隊(県内5消防本部)17隊62名、消防車両17台を輸送

<9月7日(金) 宮古港発>

◆ DMATチーム(災害派遣医療チーム)を輸送

◆ 東北電力(株)の作業員68名、車両30台を輸送

◆ 国土交通省「テックフォース」(緊急災害対策派遣隊、車両5台)を輸送

◆ NTT(株)の災害支援車両10台を輸送

<9月8日(土) 宮古港発>

◆ 岩手県職員の現地連絡員3名を輸送(支援物資帯同)

◆ 岩手県警の広域緊急援助隊警備部隊19名を輸送

<9月10日(月) 宮古港発>

◆ 岩手県職員の避難所運営アドバイス要員2名を輸送

### 宮古・室蘭フェリー航路概要

- ・ 運航会社: 川崎近海汽船(株)
  - ・ 航路: 宮古港～室蘭港(333.4km)
  - ・ 開設日: 平成30年6月22日(金)
  - ・ 使用船舶: シルバーQueen
- |        |                   |
|--------|-------------------|
| 総トン数   | 7005t             |
| 車両積載能力 | トラック69台<br>乗用車20台 |
| 最大旅客定員 | 600名              |
- ・ 運航ダイヤ: 1日1往復

宮古発08:00 ⇒ 室蘭着18:00  
室蘭発20:00 ⇒ 宮古着06:00



9月6日の朝の便に乗り込む消防隊員(9/6)



乗船を待つ消防車両(9/6)



フェリーへ乗り込む国交省車両(9/7)

# 平成30年北海道胆振東部地震での宮古・室蘭フェリーの活用

## 支援物資の輸送

宮古・室蘭フェリーによって北海道向けの支援物資が輸送されました。

<9月7日(金)>

### ◆ 仙台市から白老町への支援物資

- ・ 飲料水2,400本(500mlペットボトル)
- ・ レトルトカレー・ご飯セット1,400食
- ・ スティックライト2,500個
- ・ カセットコンロ288台

### ◆ 宮古市から室蘭市への支援物資(トラック1台)

- ・ 飲料水360ℓ
- ・ 米2,000食
- ・ 缶詰1,080個
- ・ カセットボンベ100本
- ・ ランタン10個
- ・ 毛布1箱

<9月8日(木)>

### ◆ 東北4市からの支援物資(トラック3台)

- ・ 飲料水6.7トン
- ・ 米750食

※ 山形県新庄市、福島県相馬市、南相馬市、伊達市の4市  
※ フェリーターミナルが集積場所となり、積み替えのうえ輸送

## 一般旅客の輸送

宮古・室蘭フェリーによって、他の公共交通機関では移動できなかった人の移動も可能となりました。

### 平成30年北海道胆振東部地震の概要

- ・ 発生日時: 平成30年9月6日(木)3時8分頃
- ・ 震源: 北海道胆振地方中東部
- ・ 最大震度: 震度7(北海道厚真町)



支援物資を載せ、フェリーに乗り込むトラック(9/7)



トラックに積まれた支援物資(9/7)



フェリーに乗り込む支援物資(灯油、軽油)(9/8)



北海道行きのトラックへ支援物資を積み替える様子(9/8)



9月7日朝に、宮古に到着した乗船客(9/7)



宮古から盛岡に向かうバスに乗車する室蘭からの乗船客(9/7)